

STAGE 08,“いつか、立ち向かうから”1

話者	台詞 / ト書き
	■ライブハウス
ミアラカ	先生、イオンさんっ。 見ましたかー、今朝配信の レイヤードニュース！
イオン	おはようございます、ミアラカ。 もちろん既読です。 今もテルミ達に自慢していました。
ミアラカ	ぬう、さすがイオンさん。 先生アピールには 抜かりがないですね！
テルミ	ムツキと演ったステージ、 ここまで話題になってたんだね。 大手に扱われるなんてやるじゃん。
キョータロー	有名人はさすがだな。 あんな親善試合みてえなので ニュースにされちゃうのか。
テルミ	こっちのファンもそれなりに 注目してたんでしょ。 結果オーライでいんじゃない？
イオン	はい、オーライです。 ユーザーさんのファン層もいっそう、 厚くなりましたから。
キョータロー	お前は知能が家出状態 だったくせにポジティブだね…………。
イオン	なにごとくも糶ですから。 さて、カツマへの自慢がまだですね。 すぐにお呼びします、ユーザーさん。
	//クレアからのAR通信
クレア	今日は騒がしいようね。 ここでは毎日、このような 馴れ合いが行われているの？
キョータロー	うおっ、クレア姫…………！
テルミ/ミアラカ	！？
イオン	あ、忘れてました。 クレア姫とのミーティングの お時間です、ユーザーさん。
キョータロー	遅えよ！ スケジュールぐらい把握しとけ！
テルミ	クレア………… シンガーツール使いの頂点、 クレアプロデューサー…………！
クレア	おはよう、トラブルシューターくん。 あのアイドルモンスターを相手に 生き残るとは、呆れた生命力ね。
イオン	でしょう、クレア姫。 ユーザーさんは殺しても 死なないかたです。

クレア	そんなサバイバーである あなたに、最適な依頼。 それが私のライブのオーディションよ。
テルミ	く、クレアのライブ！？
クレア	そうよ。口外は厳禁なんだけれど、 今度、密かな屋外ライブを 私の企画で行うことになったの。
クレア	メインは私のACT、クインディーバ。 そのバックでパフォーマンスを行う、 優秀なACT使いを実戦で選抜する。
キョータロー	ってことは、オルタナステージで メンバーを選ぶんだな。 基本はオルタナMVと同じか。
クレア	トラブルシューターくんへの オファーはもう決定しているわ。 当然ぶっちぎりで勝ちにいくでしょう？
イオン	む。ユーザーさんとわたしの 流儀をわかっていますね、姫。
ミアラカ	あ、あの一、クレアさん。 そのオーディションって、 私達も参加していいんですっ？
クレア	興味があるのならどうぞ。 知人の知人だから評価が甘くなる、 ということはあり得ないけれど。
クレア	それでは、当日に会いましょう。 健闘を祈るわ。
	//クレア退場
キョータロー	やれやれ、また長丁場になりそーな 依頼が来ちゃったな、 【ユーザー名】。
テルミ	……宿。
イオン	んむ？
テルミ	合宿。 合宿するよ、みんな！
テルミ	あたしは今日からオーディションまで、 ここに泊まりこむ。 一気に腕あげて、全員合格しよ！
キョータロー	うは。 テルミとは思えねー気合いだな。
ミアラカ	乗ります、テルミさん！ 私もこのオーディションに参加して、 ぐーんと霊格を上げたいですから！
イオン	わたしもむずむずしてきました、 ユーザーさん。 共同生活ですよ、共同生活！
キョータロー	……合宿かあ。 俺はオーディション出ねーけど、 練習と見学は付き合ってもいいぞ。
ミアラカ	キョータローさんは、 先生にばっか女の子が寄ってきて 嫉妬の大罪してるだけでしょ？
キョータロー	うっせーよ、非リア。 大人の行動に口出しすんな。
ミアラカ	確かにミアは 非リアリズム主義ですけど。 大人はムキにならないもんですよー。
キョータロー	ちっ……【ユーザー名】、 トレーニングすんだろ？ 手伝ってやるよ、オラツ！

話者	台詞 / ト書き
	//キョータロー&ヴァイカウントとバトル
	バトル終了

話者	台詞 / ト書き
キョータロー	ふー。 ますます腕を上げてるよな、お前。
キョータロー	ま、俺は付き合ってるだけだしな。 マジになって勝とうとも 思ってねーけどよ。
テルミ	キミさ。 頼まれたわけでもないのに その言いかたはくない？
キョータロー	はいはい、すみませんね。 俺はこいつのハーレムを 阻止して一だけですよ。
イオン	自棄はダメですよ、キョータロー？ あなたは最もユーザーさんとの 付き合いが長いかたです。
イオン	あなたほど、ユーザーさんが 心を許せる人間はおりません。 わたしにもあなたが必要で――
キョータロー	……フォローはいいって、イオン。 本気で虚しくなってくるだろ。
ミアラカ	まあまあ、せつかくの合宿なんですし 数が多いほうが楽しいですよ。 私もオカルト授業できますし。
テルミ	授業はいらないかな。 人が多いほうがいいってのは 賛成だけど。
イオン	ともあれ、合宿の開始です。 あとで食材の買い出しに 出かけましょうね、ユーザーさん。
キョータロー	【ユーザー名】、 そいつらに負けんなよ。 必ずお前が勝って合格しろ！
テルミ	だから、他人に託すなってば。

STAGE 08, "いつか、立ち向かうから"2

話者	台詞 / ト書き
	■ライブハウス
テルミ	ミアラカ、人数分お皿出しといて。 あと、野菜の盛りつけお願い。 適当に切っていいから。
ミアラカ	はい。 この善悪を知るニンジン シャトー切りにしときまーす。
エチカ	ごはんごはん、あさごは一ん♪
コロソソ	MORNING！！ ニンゲンノソソゲン！
キョータロー	ふあ～…… 今朝の朝食当番は、 あいつらか……。
キョータロー	合宿も二日目。 ゆるい朝食だなー、 【ユーザー名】。
イオン	こんな大人数での朝食は はじめてですね、ユーザーさん。 とても賑やかです。
キョータロー	あー。お前の家、 全然親が帰ってこないもんな。
イオン	はい。 いつもはわたしだけです。 不足がないか、いつも不安です。
キョータロー	別にいいんじゃないの？ つーかお前がいれば充分だろ。
キョータロー	朝起きたら、話す相手がいる。 それだけのことで、レイヤードと ACTは生まれた意味があるんだよ。
イオン	ふむ……？ 朝食のために、レイヤードが 生まれたというのですか？
キョータロー	へへ、マジメな顔すんなって。 一人じゃ生きてけねー 弱者のいいわけだよ。
テルミ	はい、行きあたり。 さっさと食べて、 朝練はじめちゃうよー。
キョータロー	おー、わかった！ 腹減ったー。
	//キョータロー退場
イオン	幸福な朝食—— 確かにそれは、幸福な現実と 呼んでいい概念かもしれません。
イオン	いただきましょ、ユーザーさん。 ユーザーさんが充実するなら、 どんな朝食もお手伝いいたします。

	■画面暗転
ミアラカ	ふいー…… 朝から絶好調ですね、 テルミさん……。
テルミ	ミアラカもいいセン言ってたよ。 今朝はあたしとエチカのほうが、 調子がよかっただけ。
イオン	素敵でしたよ、ミア。 食後に大暴れする悪魔の姿も 激しくエモーショナルでした。
ミアラカ	ライバルのなぐさめは いりませんッ！ 私は強い女ですから！
イオン	おー。 その意気です。
ミアラカ	馴れ合いより、ステージです。 次は、先生とイオンさんに 訓練を申し込みます！
イオン	承知しました。 相手になりましょう、 ユーザーさん。
テルミ	じゃ、あたしの相手は そっちにお願いしようかな。
キョータロー	へーへー。 お相手になりますよ、 テルミイP。

話者	台詞 / ト書き
	//ミアラカ&コロンゾンとバトル
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	■ライブハウス
イオン	お疲れさまです、ユーザーさん。 朝から見事な勝利でした。
ミアラカ	うー…… またしても敗戦ですか。 この大魔導師ミアラカが……。
ミアラカ	……でも、いひひっ。 負けてもなんだか楽しいですね。 相手が先生だからかな。
キョータロー	【ユーザー名】、 好調だな。 俺は連敗だわー、へへ。
テルミ	……へらへらしてるけど、 もっとやれたんじゃない？ ちょっとカンタンすぎたよ。
キョータロー	仕方ねーだろ。 気合いの入りかたが お前らとは違うんだって。
テルミ	そういう言い訳は聞きたくない。 損するわけでもなし、キミも オーディション出ればいいじゃん。
キョータロー	だからよー、 そこまで目立ちてえと 思ってねーんだよ、俺は。
テルミ	……………。 キミは、晴れ舞台が怖いんだね。
キョータロー	あ？
テルミ	人それぞれだけどさ。 あたしはキミにもそれなり、 才能があるって思ってたから。
キョータロー	俺に……才能？
テルミ	ヒーローが好きなんでしょ。 あたしは、キミ以上の ヒーロー好きを知らないよ。
テルミ	他人に付き合ってるだけの キミを見てると、あたしでも もったいないって感じる。
テルミ	本当に…… ずっとそれでいいの？
テルミ	【ユーザー名】。 キミはどう思う？
	//選択肢 A キョータローが決めること B キョータローには才能がある
選択肢A	キョータローが決めること

テルミ	……へー。 キミは友達を信じてるんだね。
選択肢B	キョータローには才能がある
テルミ	ほら。 友達もこう言ってくれてるよ？
合流	
キョータロー	……買いかぶりだって。 俺は前座ぐらいがちょうどいい。
テルミ	……そ。 じゃあもうなにも言わない。
ミアラカ	……………。
イオン	……そろそろ、 休憩に入りましょうか。 ね、ユーザーさん。
	■画面暗転
	——その夜——
イオン	……ユーザーさん、 ユーザーさん。 起きてらっしゃいますか？
イオン	こんな時間ですが、お呼び出しです。 テルミが、外で待っていると…… 静かな場所で話したいみたいです。
イオン	行ってみましょう、ユーザーさん。 他ならぬテルミのお願いですから。

STAGE 08,“いつか、立ち向かうから”3

話者	台詞 / ト書き
	■渋谷 一駅周辺ー
テルミ	……あ、来た来た。 寝てるかと思ってたよ。
イオン	テルミ、こんな時間に、 ひとりで出かけてはいけません。 注意が足りませんよ。
テルミ	あは、ごめん。 ちょっと夜風に当たりたくて。 次から気をつけるね、イオン。
イオン	約束です。 ……では、お話をどうぞ。 ユーザーさんに用があるんですよ。
テルミ	用っていうか、謝りたくて。 今朝は、空気悪くしてごめんね。 モチベ上げすぎて、気が立ってた。
	//選択肢 ※結果は同じ A 気にしてないよ B 気持ちはわかるよ
テルミ	ありがとう。 ホントに器が大きいよね、キミ。 ときどき、自分が小さく感じるよ。
テルミ	あたしは、最初からキミを 利用しようとしたのに。 ……いつも付き合ってくれるもんね。
テルミ	……ごめん。 あたし、全然あいつのこと 言えないや。
エチカ	エチカからも、ごめんねー。
イオン	謝る必要はありませんよ。 テルミとの出会いは、 幸福な出会いでした。
テルミ	そう言ってもらえると助かる。 あたしさ、こう見えて 結構ヒクツなんだ。
テルミ	あんまり人の気持ちとか、 察するの得意じゃなくて。 誰かと話すのも苦手でき……。
テルミ	エチカと出会って、ようやく。 シンガーツールのACTで、 やっと、自分を外に出せた。
テルミ	エチカとなら、人前に立ちながら ちゃんとした大人になれるって。 そう思って、ここまで来て……。
テルミ	でも、そう上手くはいかなかった。 キミに負けてから、身勝手な歌じゃ 誰にも届かないって思い知ったよ。
イオン	テルミ……。
テルミ	あ、誤解しないでね。 今のはヒクツじゃなくて感謝。
テルミ	キミと会って、それからたくさん 出会いがあったから、あたしも もっとやれるって思えたんだ。

テルミ	あたしは、ひと皮向けたい。 キミにも勝ちたいし、 クリア姫にも認められたい。
テルミ	だから。 今度のオーディションは本気。 自分の歌で、勝ち残りたい。
テルミ	それまでは、この面倒な女に 付き合ってよね。 キミも、イオンも。
イオン	もちろんです。 ユーザーさんもわたしも、 一生だって付き合えます。
テルミ	あはは。 一生となると、付き合いかたが 変わっちゃうんじゃない？
イオン	……んむ？
テルミ	それじゃ、そろそろ戻ろっか。 明日は、仕上げの意味も込めて、 キミらに相手してもらおうね。
イオン	承知しました。 まずはゆっくり休みましょう。
テルミ	うん。おやすみ、イオン。 【ユーザー名】。
エチカ	みんな、おやすみー！
	■ライブハウス
キョータロー	あ～、今日も疲れたー。 だりー、帰りてー。
ミアラカ	こらーキョータローさん。 おへそ出して寝ちゃダメです。 雷公におへそ取られますよ。
テルミ	……よし。 そろそろはじめよっか。
イオン	望むところです、テルミ。 我らの女子力が極まれるときです。
キョータロー	お？ あいつら、なんか昨日より ピリピリしてやがるな。
ミアラカ	火花は散っていますが、 魂のディスタンスは 近づいているような？
テルミ	……しっかり聞いてね。 あたしとエチカの歌——。
エチカ	ワタシと、テルミの歌ー！

話者	台詞 / ト書き
	//テルミ&エチカとのバトル
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	■ライブハウス
テルミ	くっ……！ あーっ、もーっ！ イメージとズレたッ！
テルミ	サボってるわけじゃないのに…… どうしてこうなっちゃうんだろ。 ……くっそー。
キョータロー	おいおい、 そんな眉間にしわ寄せると 老けるぞー。
テルミ	……歌詞が練りこみ不足なのかな。 それとも、メロディーライン？ ……それとも……。
ミアラカ	聞こえてないみたいですねえ。 深層意識のレイヤーで トランスしてるって感じです。
キョータロー	……マジかよ。 そんなレベルで集中してたのか。
キョータロー	もっと名誉欲に取り憑かれた女だと 思ってたけど、マジメだねえ。
イオン	出会いがテルミをよい方向に 変えた、とのことです。 誇りに思いましょう、ユーザーさん。
キョータロー	ふーん…… 女を変えるなんて 相変わらずすげーよな、お前は。
イオン	キョータローとの出会いも、 テルミを変えているはずですよ。 気づきませんか？
キョータロー	はあ？ ないない、それはない。 俺に他人は変えられねえって。
テルミ	よし、もう一戦やるよ！！
キョータロー	うお、急に我に帰るな！
テルミ	悩む時間をもったいないから。 オーディションはまだ先だし、 ギリギリまで頑張る。
ミアラカ	はいはい、次は私が テルミさんと魂の距離を 縮めまーす！
テルミ	いいよ、ミアラカ。 悪魔の魂だって受け止めたげる。
イオン	近づきながら、強くなっていく。 いい空気ですね、ユーザーさん。
キョータロー	いやいや、あいつらに付き合っ てる気出しすぎると アーダルになるかもよ？

イオン	そんなことはありません。 キョータローも、テルミとの 距離をぐっと縮めましょう。
キョータロー	俺は隙間だらけでいいって……。

STAGE 08,“いつか、立ち向かうから”4

話者	台詞 / ト書き
	■オーディション会場
	//人がざわめくSE。
女子高生	きゃ～！！ 【ユーザー名】さん、 今日も頑張ってるね～♪
イオン	おー。結構な観客が集まっています、 ユーザーさん。 公開オーディションだったのですね。
ミアラカ	これだけ集めて、選ぶのは、 密かな屋外ライブの出演者…… 意図が読めませんね、クレア姫。
キョータロー	天才の考えることは わからねーよな、マジで。
テルミ	なにを考えてようと、 やれることやってやろーじゃん。 みんな、準備はいい？
イオン	……テルミ。 力を入れすぎないでくださいね。
テルミ	わかってるよ、イオン。 イメトレも充分だから。
クレア	いらっしやい、 トラブルシューターくん。 はじまる前から賑やかなようね。
イオン	おお、生クレア姫ですよ、 ユーザーさん。
テルミ	うわっ…… 肌きれー……。
クレア	期待している、とはもう言わない。 勝ち残る以外の道はないとしても、 ダサい勝ちかたは認めないわ。
イオン	その点をご心配なく。 ユーザーさんは、 スタイリッシュに圧勝してみせます。
キョータロー	お前ら、フツーに会話すんなよ…… 周りの視線が痛いぞ。
ミアラカ	く、クレア信者から、 敵がい心メインの 複雑な念を感じますね……。……。
イオン	む。これ以上話すと、 無用なUNPLを 押されてしまいますね。
クレア	多少のUNPLぐらい、 このあとのステージで 返上すればいいことでしょう。
テルミ	そだね。 焦らせてあげようよ、アタシらで。
クレア	あなたは誰かしら。 存じあげないけれど、 あなたもシンガーツールのP？

テルミ	……一応。 そこそこのレベルな つもりなんだけど。
クレア	あっそう。まあ、期待どころか 特に何も求めていないけれど。 やりたいのならば、頑張っていいわ。
クレア	じゃ、トラブルシューターくん。 合格したらまた会いましょう。
	//クレア退場
テルミ	……………。
ミアラカ	きつつー……。 ムツキさんとはまた別の アイアンメイデンですね。
テルミ	いいよ。興味がないなら、 興味を持たせてやるから。 それがオルタナステージでしょ。
テルミ	見ときなさいよ、 クレア・グローリー……！
エチカ	あたしと、エチカのステージを！ 見とけよ見とけよー！
イオン	ふむ。テルミがメラメラしています、 ユーザーさん。 燃える女子もよいものです。
キョータロー	感化されんのもいいけど もう予選はじまるぞー、 【ユーザー名】。

話者	台詞 / ト書き
	//人型ACT使いとのバトル
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	■オーディション会場
	//歓声のSE
観衆	いいぞー！ 盛り上がってるぞー！
女子高生	サイコー！ ライブ配信だけじゃ、 もったいなーい！
イオン	おお……。 ユーザーさんに、 賞賛の声が集まっています。
イオン	合宿生活で頑張ったかいが ありますね、ユーザーさん。 うふふ。
キョータロー	また気持ちよさそーな 顔してやがんなー、イオン。
イオン	気持ち、ですか？ 学習機能は活性化していますが、 気持ち、とは表現できません。
キョータロー	別に否定しなくていいって。 個人の感想だからよ。
イオン	ですが、わたしはACTとして、 この状態を気持ちと 名づけるわけにいかず……。
キョータロー	いいんだってば。人間だって 他人の心はわかんねーし、 気持ちいいってことにしとけ。
ミアラカ	先生ー、イオンさーん！ ミアも勝ちましたよー、 大勝利ですよー！
イオン	おお、ミアも。 これは幸先がいいですね、 ユーザーさん。
キョータロー	お一つ、ミアラカ。 この調子なら、テルミも……。
テルミ	……………。
キョータロー	お、テルミが戻ってきた。 どうだった？ さすがに予選はラクショーか？
テルミ	……………ごめん。
イオン	んむ？
テルミ	……………ごめん。 負けた。
ミアラカ	えっ……………。

テルミ	あれだけやったのに、 もう……負けちゃったよ。 あはは。
エチカ	負けちゃったよー……。
キョータロー	な……！？
イオン	………！
ミアラカ	テルミさんが、予選で負けるなんて！ ヒキョーなマネでも されちゃったんでしょう！？
キョータロー	そ、そうだ！ どうせすぐに、UNPL上げて 脱落するような相手なんだろ！？
テルミ	いや、そういうんじゃないよ、 なんていうかさ。 フツーに強い相手でさ。
テルミ	油断してたわけじゃないよ？ 名前も知らない相手だったけど、 思った以上に反撃食らってさ。
ミアラカ	テルミさん……。
テルミ	テンパってやりすぎたから、 UNPLも軽くヤバいかも。 ダサイよね、あははは。
キョータロー	………。
イオン	………。
クレア	ほらね。無意味に重い期待は 弱い人間を溺れさせて、 潰してしまうだけなのよ。
クレア	想いだけでは、実力は埋まらない。 夢を見ようとも、届かなければ この世界は応えてくれない。
クレア	苛酷な現実には敗れた仲間は、 どのようにして救うのかしら？ トラブルシューターくん？

STAGE 08, "いつか、立ち向かうから" 5

話者	台詞 / ト書き
	<p>■オーディション会場</p>
イオン	<p>次のステージを勝ち残れば、 ユーザーさんとミアは 合格確定のようですが……。</p>
ミアラカ	<p>テルミさんは……。</p>
テルミ	<p>ちょっと、なに空気重くしてんの？ 誰が勝ち残るかなんて、 わかんなかったでしょ。</p>
キョータロー	<p>無理すんなって、テルミ。 応援なら俺がしとくからよ。</p>
テルミ	<p>別に応援したいわけじゃないよ。 負けちゃったのは事実だから、 学びたいだけ。</p>
テルミ	<p>足りないものがあるなら、 この機会に見つけたい。 見つけて、成長したい。</p>
テルミ	<p>あたしがやりすぎると、世間は 不快になるみたいだから——。</p>
イオン	<p>……………。</p>
テルミ	<p>——どこが嫌われるのか、 なにが嫌がられるのか、 知っておきたい。</p>
キョータロー	<p>お前……。</p>
テルミ	<p>この悔しさを、心に刻まなきゃ。 ワガママ言って悪いけど、 ここにいさせて。</p>
テルミ	<p>あたしを、キミ達と同じ、 表の舞台にいさせて。</p>
ミアラカ	<p>テルミさん…… やっぱカッコいい。 私はそこまで大人になれないです。</p>
イオン	<p>はい。 ロジカルではありませんが、 整理されたパッションです。</p>
テルミ	<p>フォローはいってば、イオン。 これから戦うのはキミなんだよ。</p>
イオン	<p>フォローではなく、評価です。 正当に論じているつもりですよ。</p>
テルミ	<p>……なるほどな。 負けといて持ち上げられると、 こんな気持ちになるんだね。</p>
キョータロー	<p>……………。 持ち上げてんじゃねーって。 俺もイオンに同意だ。</p>

キョータロー	もし俺がお前だったら、 逃げるか考えるのをやめてる。 ……大したもんだよ、お前。
テルミ	ん？ なんて？
キョータロー	なんでもねーよ。 おら、【ユーザー名】に 声かけてやれ。
テルミ	そだね。キミが勝てば、 あたしらの合宿にも 意味があったってことだよね。
テルミ	行ってきて。 キミが勝ってきて。
テルミ	キミが—— 今日のヒーローになってきて。
キョータロー	……よし。
キョータロー	テルミの分までぶちかましてこい、 ミアラカ！ 【ユーザー名】！

話者	台詞 / ト書き
	//ACT使いとバトル
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	■オーディション会場
テルミ	……やった！ やったね、 【ユーザー名】！
イオン	文句なしの勝利ですよ、 ユーザーさん！
ミアラカ	み、ミアもなんとか勝てましたー！！
キョータロー	よっしゃー！ よくやったぞ、二人とも！
クレア	おめでとう。 予定通りに合格できたよね、 トラブルシューターくん。
イオン	クレア姫。 予定通りではありません。 勝ち取った結果です。
クレア	そうね、イオン。 予定より上、あるいは予定外に 盛り上がっていたと感じられたわ。
クレア	私もあなた達の勢いに 食われないよう、次の段階への ステップアップを意識しなければね。
キョータロー	こんだけやったんだ。 つまんねえ本番用意してたら、 承知しねーぞ？
クレア	それはご心配なく。 あなた達の想像など及ばない ステージを用意しているから。
ミアラカ	想像も及ばないステージ…… どんなコスミックな世界が 待ち受けているんでしょう？
テルミ	……………。
クレア	それじゃ、合格者諸君。 無意味な期待はしないから、 次も必ず結果を出してね。
	//クレア退場
テルミ	……ふん。 こんだけ睨んでも無視か。 いいけどね。
テルミ	いつか…… いつか、近いうちに、 絶対に。
テルミ	なにを失おうとも、 あたしとエチカの歌で、 あんたを感動させてやるから……！
エチカ	やるからー……！

	■ ???
??	そう、重要なのは感動。 彼を感動させること。
??	彼が帰還してくるレイヤードは、 それが作られる前よりも 愉快でなければいけない。
??	たとえこの身が、 ———ようとも。 なにを失おうとも……。
	■ オーディション会場
イオン	——さん。 ユーザーさん。 聞こえていますか？
イオン	決して自分をあきらめない、 テルミの姿。 その傍らに立ち、支えるエチカ。
イオン	わたしはあのような関係こそ、 美しい人とACTの関係だと 感じます。
	// 選択肢 A そうだね B 英雄とヒロインの関係は？
選択肢A	そうだね
イオン	おお。 気が合いますね、ユーザーさん。
選択肢B	英雄とヒロインの関係は？
イオン	うふふ。 わたし達の関係も、 日々、進歩していますよ。
合流	
イオン	その上で——ユーザーさん。 わたしはテルミの姿勢をこそ、 学ぶべきだと考えます。
イオン	それはすなわち、 戦う意思の姿勢。
イオン	ヴァルナもアーダルも凌駕する、 固い信念と覚悟。
イオン	戦いましょうね、ユーザーさん。 世界がそれを、認めるまでは。